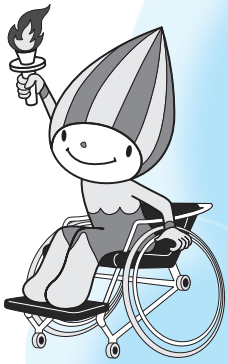
輝けはばたけだれもが主役 2012

ぎふ清流国体
ぎふ清流大会



ぎふ清流国体揖斐川町実行委員会 設立

7月8日(水)に国体が岐阜県で開催することが正式決定されたのを受けて、7月10日(金)には、「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会(障害者スポーツ大会)実行委員会」第1回総会が岐阜市で行われ、そこで国体・大会のテーマソングが発表されました。

揖斐川町では、7月13日(月)、揖斐川町中央公民館大ホールで、これからの具体的な準備作業に対応するため「ぎふ清流国体揖斐川町実行委員会設立総会」が行われ、これまでの準備委員会組織を実行委員会に改組されました。

この日は、開催競技の準備にあたり、各種関係機関・団体・地域住民の皆さんが集まり国体の成功に向け、町民の気運を盛り上げながら準備を進めていくことが確認されました。

▲古田知事から会場地決定書を受け取る宗宮町長

揖斐川町では、国体の正式競技としてソフトボール競技(少年女子)、カヌー競技(ワイルドウォーター、スラローム)、ぎふ清流大会では、グランドソフトボール、またデモンストレーションとしてのスポーツ行事(デモスポ)で少女ソフトボール(小学生)が開催されます。

各競技の開催場所は、ソフトボール競技、少女ソフトボールは揖斐川健康広場ビッグランド、カヌー競技は揖斐川特設カヌー競技場(朝鳥公園付近)が予定されています。

なお、ぎふ清流国体は、平成24年9月29日から10月9日までの11日間、ぎふ清流大会が平成24年10月13日から10月15日の3日間で行われます。

▲実行委員会設立総会の様子(中央公民館大ホールにて)

揖斐川町開催種目正式決定!

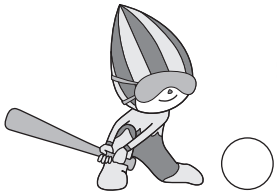
第67回 国民体育大会
ぎふ清流国体

《正式競技》
ソフトボール

《正式競技》
カヌー

《デモスポ》
少女ソフトボール

第12回 全国障害者スポーツ大会
ぎふ清流大会


グランドソフトボール

揖斐郡消防操法大会のポンプ車の部で揖斐分団優勝！

6月21日(日)、市場グラウンドで、雨の中、第54回揖斐郡消防操法大会が開催されました。大会には揖斐郡内の消防団から、小型ポンプの部は10チーム、ポンプ車の部は12チームが出場し日頃の訓練の成果を競い合いました。

大会の結果は次のとおりです。

《小型ポンプの部》

優　勝　池田町消防団
準優勝　揖斐川町消防団揖斐分団
3　位　揖斐川町消防団小島分団

《ポンプ車の部》

優　勝　揖斐川町消防団揖斐分団
準優勝　揖斐川町消防団坂上分団
3　位　大野町消防団

▲高レベルな操法が披露されました。

なおポンプ車の部で優勝された揖斐川町消防団揖斐分団は、8月2日(日)に飛騨市古川町で開催される、第58回岐阜県消防操法大会に出場されます。大会でのご活躍を期待しています。

▲ポンプ車の部で優勝した揖斐分団

～いざというときの備え～ 土砂災害防災訓練開催！

土砂災害が発生したことを想定した防災訓練が6月14日(日)、藤橋地域で行われました。

訓練では、藤橋地域の住民の皆さんの参加により、岐阜県や自衛隊などの協力を得て、土砂災害発生時に被害を最小限に食い止めるための避難訓練や救助訓練などが行われました。

訓練は的確、迅速に行われ、参加者の皆さんは、避難経路の確認や非常持ち出し品の準備、地域ぐるみで防災に取組む必要性が感じられたのではないでしょうか。

▲消防団員による土のうこしらえ訓練の様子

災害復旧・災害防止功労者表彰受賞 揖斐川町消防団！

この度、揖斐川町消防団が、災害復旧及び災害防止事業の功労者として表彰されました。

この表彰は、全国防災協会が災害復旧や防止事業を多年にわたり献身精励し、顕著な功績があった個人や団体を表彰するものです。

6月19日(金)に、表彰受賞報告会が行われ、橋本団長が揖斐川町役場を訪れ「揖斐川町消防団の災害復旧や災害防止に対する活動が表彰されたことを誇りに思います。今後も消防の精神を胸に一丸となって取り組んでいきたい」と話されました。

▲表彰受賞おめでとうございます。

FC岐阜 揖斐川町ホームタウンデー開催！

6月14日(日)、FC岐阜対湘南ベルマーレ戦が長良川競技場で開催されました。FC岐阜は地域と連携し発展を目指すJリーグのチームで、当日は「揖斐川町ホームタウンデー」として、揖斐川町にちなんだ様々な催しが行われました。

FC岐阜側からのご厚意で、揖斐川町民約1000人の無料観戦などが実現したほか、町のPRのための物産展や入場者へのプレゼントなどが行われ、試合場であるピッチでは町のスポーツ少年団揖斐川FCジュニアの皆さんによる前座試合も行われました。

▲大観衆の前でチャレンジ宣言をする若山直渡さん

セレモニーではスポーツ少年団員の若山直渡(わかやまなおと)さんの「チャレンジ宣言」を皮切りに、揖斐川FCジュニアの団員が旗手を務め、Jリーグのフェアプレイフラッグと揖斐川町旗が入場し、宗宮町長から揖斐川町の特産品のいび茶が両チームへプレゼントされました。

▲フラッグの旗手を務める少年団員の皆さん

当日は真夏日でしたが、およそ7000人が来場し、大変な盛り上がりを見せました。試合はJ2首位の湘南ベルマーレ(対戦当時)に善戦し、2対2の引き分けとなりました。上昇機運のFC岐阜の活躍をこれからもご注目ください。

ぎふ清流国体に向けて！ カヌー審判員を養成

7月5日(日)、揖斐川町中央公民館で、ぎふ清流国体(平成24年開催)に向けたカヌー競技の審判員養成講習会が開催されました。

国体開催時には、多くのボランティアや審判員が必要となるため、昨年から審判員養成を行っています。

今年は町内外から24人の皆さんが参加され、日本カヌー連盟から招いた講師の指導のもとカヌー競技のルールを学びました。

今後、これまでの受講者に実地の研修などを行い、国体本番へ向けて万全の体制づくりをしていきます。

▲熱心な講義が行われました。

犯罪と非行のない明るい地域をめざし 街頭啓発を実施

7月の「社会を明るくする運動強調月間(法務省主唱)」に合わせ、7月1日(水)、町内2か所で、街頭啓発活動が行われました。

この活動は、揖斐川町社会を明るくする運動推進委員会が主催。保護司会や更生保護女性会の皆さんが、啓発用品のうちわ、ポケットティッシュ、しおりなどを配布し、運動を呼びかけました。この活動で皆さんと一緒に安全で安心して暮らせる、明るい地域づくりを目指しています。また、同時に内閣府主唱の「青少年の非行問題に取り組む全国強調月間」に合わせ、揖斐川町青少年育成町民会議の啓発活動も行われました。

▲街頭啓発の様子(揖斐駅前にて)

北海道芽室町で研修 認定書交付式！

北海道芽室町への派遣研修の認定書交付式が、6月23日(火)、揖斐川町中央公民館で行われました。

この研修は、芽室町での交流を通じて、生活や文化、歴史などを学び、感性豊かな人材を育てるために行われています。

式典では、宗宮町長から今回参加される13人の児童の皆さんへ認定書が手渡されると、真剣な眼差しで受け取っていました。

最後に派遣団の団長から挨拶があり児童の皆さんは決意に満ちた表情を浮かべていました。

▲一人ひとりに認定書が手渡されました。

～科学の楽しさを学ぶ～ 科学の祭典 開催！

6月20日(土)、揖斐川町中央公民館で、青少年のための科学の祭典岐阜大会 in 揖斐川」が行われました。

町内の子どもたち およそ450人が参加したこのイベントは、好奇心と探究心を起こさせるような科学工作の実演を見たり実際に体験したりすることで、科学の楽しさを知ることを目的に行われています。

会場には、化石レプリカ・風船電話など、科学を体験できる14か所のテーブルが設けられ、岐阜大学と岐阜聖徳学園大学の学生およそ50人が講師となり、子どもたちに説明していました。

▲風船電話で楽しむ子どもたち

河川環境の保全の重要性を知る 水生生物調査を実施！

町内小学校では、粕川、坂内川、揖斐川など河川に棲む水生生物を調査する「カワゲラウオッチング」が行われました。

今年は、町内5つの小学校で行われ、6月16日(火)には、坂内小学校の全児童12人と揖斐小学校3年生の児童51人が合同で坂内川を調査しました。

きれいな水に生息するといわれるカワゲラ、ヒラタカゲロウ、ナガレビケラ、ヘビトンボなど水生動物がたくさん確認され、揖斐川町の川はたいへんきれいな川と再認識しました。皆さんもこのきれいなふるさとの川を守ることにご協力ください。

▲カワゲラウォッチングの様子(坂内川にて)

農地・水・環境保全対策事業 北方小学校田植え体験

農地・水・環境保全対策事業の一環として北方小学校5年生の児童22人が、6月17日(水)、北方地区内の水田で田植えを体験しました。

当日は、北方地区の農家の皆さんが講師となり、どろんこになりながら約3アールの水田に昔ながらの手作業で苗を植えました。児童の皆さんは田植えを通じて、昔の農業の苦労や自分達の住んでいる地域の水や環境の大切さについて学びました。

今回植えた苗は、秋に収穫し、北方小学校の児童や地域の皆さんに「餅」として振舞われる予定です。

▲田植え作業の様子

名古屋で水フェスタ
水源地域で揖斐川町参加！

6月7日(日)、名古屋市で、なごや水フェスタが開催され多くの来場者が訪れました。

この催しは、上水道の浄水場を開放して、水や水源地の大切さを伝えることを目的に行われる行事で、今年で51回目を迎えます。

揖斐川町は、徳山ダムを持つ揖斐川上流域の水源地の自治体として参加し、揖斐川町の観光PRが行われたほか、間伐材を使ったプランターボックスづくり体験も行われました。

▲多くの家族連れが参加されました。

東海大会・全国大会で活躍
スポーツ優秀者激励（報告）会

各種スポーツ大会に出場する皆さんの激励会と活躍された選手の皆さんの報告会が行われました。

6月17日(水)には空手道競技にて東海大会出場の池田高校の高橋さん、大垣商業高校の大西さんが訪れ「練習の積み重ねを発揮できるよう平常心でがんばります。」と抱負を述べてくれました。試合結果は両選手とも見事上位入賞という輝かしいものでした。

【空手道競技】

女子形の部　**準優勝**
高橋　茉里(まり)さん

女子形の部　**ベスト8**
女子組手の部　**第3位**
大西(おおにし)ひかるさん

▲高橋さん(写真左)と大西さん(写真右)

▲揖斐高等学校フェンシング部の皆さん

6月30日(火)には、岐阜県高校総体フェンシング大会、女子団体の部で約11年ぶり優勝を果たし、インターハイ・東海大会への出場権を獲得した揖斐高等学校フェンシング部の皆さんが役場を訪れ、三重県で開催された東海大会の報告がされました。結果は女子団体戦で優勝、また個人戦でも上位入賞という堂々たる戦績でした。

《東海高等学校総合体育大会》
【フェンシング競技】

女子フルーレ団体戦　**優勝**
揖斐高等学校
野原(のはら)早紀(さき)さん
前田(まえだ)幸代(ゆきよ)さん
松浦(まつうら)恵里(えり)さん

女子フルーレ個人戦　**3位**
川満(かわみつ)千乃(ゆきの)さん

女子エペ個人戦　**優勝**
川村(かわむら)理紗(りさ)さん

また、同日「オールジャパン・インディアカ・トーナメント」に岐阜県代表として出場されるチーム「いび川」の皆さんが役場を訪れ、全国大会出場に対して町長から激励がありました。

宗宮町長は、「皆さんの活躍は広く注目されており、町民のひとりとして誇らしく思います。これからも自分に克ち、気負うことなく、平常心でがんばってください。」との言葉がかけられました。

《オールジャパン・インディアカ・トーナメント》
【シニア混合の部　ベスト6】

チーム「いび川」
森本(もりもと)隆男(たかお)さん
吉野(よしの)和彦(かずひこ)さん
栩川(とちかわ)久仁子(くにこ)さん
今村(いまむら)洋子(ようこ)さん
内田(うちだ)久子(ひさこ)さん

▲インディアカチーム「いび川」の皆さん

～咲き誇るゆりの中で～ 谷汲ゆり園ゆりまつり開催！

6月13日(土)、14日(日)の2日間、谷汲ゆり園で、ゆりまつりが開催されました。会場内には開花の見頃を迎えたスカシゆりに囲まれ、ヒノキの木立の中での谷汲踊や美濃いび川おばば太鼓、三倉の太鼓踊りなどが披露されました。

ゆり園は、谷汲大洞地区の皆さんが力をあわせて管理しており、平成8年の開園以来少しずつ整備が進み、現在では3ヘクタールの園内全体に50種30万球のゆりが植えられ、毎年訪れる人を楽しませています。

▲おばば太鼓が披露されました。

～遊休農地を利活用～ 谷汲農園でじゃがいも収穫！

谷汲振興事務所東側に位置する谷汲農園(谷汲徳積)で、6月13日(土)、じゃがいもの収穫祭が行われました。

この農園は、遊休農地の利活用を目的として、栽培管理を地元の農家の皆さんにお手伝いいただき、オーナー農園事業を実施しています。

今年は、じゃがいもの出来栄えも上々で、かごや袋いっぱいに収穫する姿が見受けられました。

また、農園で収穫されたじゃがいもでジャガバターやフライドポテトが振る舞われ、参加された皆さんに好評でした。

▲47組が参加されました。

小さな親切実行章受章！ 大正琴いちご畑

この度、大正琴いちご畑が、小さな親切実行章を受章されました。この実行章は、「小さな親切運動岐阜県本部」が主体で、さりげない優しさや温かな行動に対して章を贈るものです。

6月17日(水)に、受章報告会が行われ、瀧瀬進(たきせすすむ)さん(谷汲長瀬)が、揖斐川町役場を訪れました。

大正琴いちご畑の活動内容は、老人福祉施設・病院などの慰問演奏が中心で、13年ほど前に趣味のグループで活動が始まり、最近では、地域イベントなどへも出演されています。

小さな親切実行章の受章おめでとうございました。

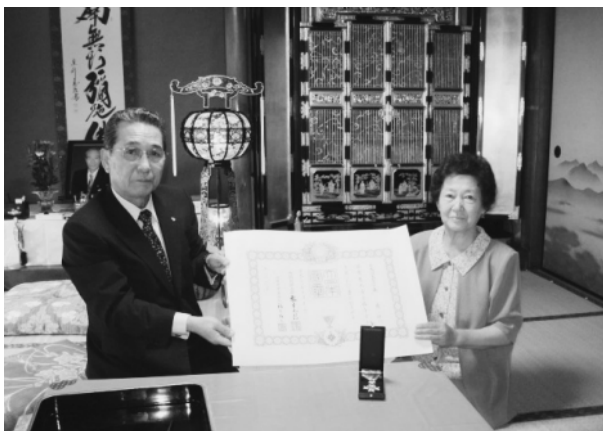
▲これからもご活躍を期待しています。

叙勲(瑞宝双光章)受章

5月5日に亡くなられた森達行(もりたつゆき)さん(春日六合(ろくごう))が瑞宝双光章を受章され、宗宮町長よりご家族へ伝達が行われました。

森さんは、昭和25年7月から春日村職員として奉職され、昭和55年2月からは、教育長、収入役、助役として春日地域の発展にご尽力されました。

これら生前の功労が認められ今回の叙勲の受章となりました。この多大な功績に対し、敬意を表しますとともに心からご冥福をお祈りします。



▲叙勲の伝達が行われました。